

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表:令和8年1月9日

事業所: PARKさくら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室に加えて廊下スペースや空き部屋(会議室)、屋上なども活動場所として活用できるため、活動スペースとしては十分確保できている。児童の相性や活動内容によるレイアウトの工夫などを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準は満たしている。しかし、余裕があるとは言い難い為、募集をかけていきたい。定員を超える際の配置数を確認しておく必要がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化されている。エレベーターや手すりもあり、車いすの方の利用も可能である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員が全員参加のミーティングを毎月実施するようにしている。振り返りをし、個別支援計画に基づいた目標設定、事業計画の進捗状況を確認し、支援の向上を意識している。ただ、現場スタッフの勤務の関係から参加できていない状況もある為、今後の課題としていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケートを実施し、業務の改善につなげている。日頃より、送迎時や面談の機会を通して相談を受け、意向やニーズの把握を行っている。ご意見に対しては、職員間で情報共有し業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人内で順次行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の年間計画に則り実施しているほか、必要に応じた研修を適時実施している。年に1回法人全体での職員研修や法人内の児童事業所が集まり集合研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画書の作成にあたり、面談を実施し、利用児、保護者のニーズを確認したうえで立案している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内の放課後等デイサービスに特化した共通のアセスメントシートを使用している。必要に応じて見直しを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全体で子どもたちが楽しみながら、色々な体験が出来るように、季節行事や活動メニュー、児童の発達に応じた個別支援のプログラム等の立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			身体を使った活動、学習要素のある活動、生活能力向上のための活動、季節感のある活動等、児童の反応を見ながら随時内容を見直し、活動がマンネリ化しないよう色々な情報を取り入れ工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援や集団活動など、児童の状態に合わせた活動が出来るよう工夫している。平日と休日で活動内容を変え、長期休暇には、普段できない内容(買い物学習、クッキング、就労体験など)を取り入れるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達段階やニーズに応じた個別活動と集団活動を組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の朝礼で打ち合わせを実施し、活動内容と目的を共有し、役割分担や気になるケースの確認をしている。学校やご家庭からの情報も共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後に夕礼(支援の振り返り)を実施し、気になるケースや支援に対する気づき、家族からの伝達事項、ヒヤリハットなど共有している。不在職員は、翌日電子記録システムで情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			電子記録システムに記録し、職員間、管理者も目を通し、相互に記録内容を確認できるようになっている。保護者へは支援内容を写真を添えて報告している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回モニタリングを実施し、達成度や今後の目標設定など個別支援計画書の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って(5領域に合わせ)支援を行っている。定期的にガイドラインの読み合わせを実施している。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			職員間で情報の整理を行ったうえで、児童発達支援管理責任者を中心に、必要に応じて担当職員も参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎日の送迎時、学校や各家庭との情報共有を行っている。必要な連絡を取り合い、調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な児童の受け入れは現在行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を通じ情報提供を求めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じ、移行先から希望がある場合は保護者の同意を得たうえで情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関での研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	障がいのない子供達と一緒に活動する機会はなかなか作ることが出来ていない。頻度は少ないが、他の障害児通所施設との交流の機会はある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			市主催の「子ども支援部会」へ毎月参加し、情報交換会や検討会を行っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電子記録システムにて日々の活動の様子をご家庭に見て頂いたり、送迎時に状況等伝え、疑問等に応じるなど保護者とのやり取りを行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年1回、ペアレントメンターによる相談会を開催し、保護者の悩み相談の機会を設けている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、変更が生じた時、定期的に開催する面談時に説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じ相談を受け、関係機関も交えての相談支援や医療機関へ受診される際には必要な情報提供を行っている。必要に応じてペアレントメンターを利用している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に1回、親子交流会、保護者座談会を開催している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設定した上で誰にでも意見・相談・苦情を伝えやすい環境になるように努めている。苦情等があれば早期対応し、再発防止に努めている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			電子記録システムの家族公開で子どもさんの様子をいつでも見て頂けるようなシステムを導入している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取扱について同意を得ている。個人情報が記載されている書類は事業所で保管している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			スケジュールボードや絵カードなど視覚支援を用いて、児童に合わせたコミュニケーションツールを活用している。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子ども食堂を開催したり、事業所を地域に開放し多目的に使用して頂いている。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			法人で各マニュアルを策定し職員に周知を図っている。保護者へは契約時、面談時に説明を行っている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			マニュアル策定し、内部研修を実施することで周知徹底を行っている。年に2回以上は防災・防犯訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月、虐待に関する振り返りを実施するとともに、全職員が虐待防止の研修会に参加している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明を行い、緊急性が高い場合（本人の命に係わること）など、行動制限を行う場合がある事を個別支援計画に記載し保護者の同意を得ている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時、面談時に保護者へ確認、情報を得ている。現在、対象児童はいない。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの間があった際にはアプリに記録し、毎月、事業所連絡会にて他事業所の事例も共有している。